

メモ(Windows 11 の WSL2 による SSH 接続)

keychain

ターミナルを起動する度に鍵を ssh-agent に登録する必要がある。

[keychain](#) を使用すると ssh-agent が起動していないときは、自動的に鍵を ssh-agent に登録してくれる。

1. インストール

```
username@localhost:~$ sudo apt update
username@localhost:~$ sudo apt-get install keychain
```

2. .bashrc編集

/home/username/.bashrc (.bash_profile) の末尾に下記を追加する。 (keychain 2.8.5)

```
eval `keychain --eval --agents ssh ~/.ssh/id_rsa`
```

3. wsl起動

wsl初回起動時、または再起動すると下記のようにパスフレーズを聞かれる

```
* keychain 2.8.5 ~ http://www.funtoo.org
* Starting ssh-agent...
* Adding 1 ssh key(s): /home/username/.ssh/id_rsa
Enter passphrase for /home/username/.ssh/id_rsa: # パスフレーズを入力する
* ssh-add: Identities added: /home/username/.ssh/id_rsa
```

wsl や OS を再起動するまでは、ターミナルを起動するごとにssh-agent起動 鍵登録をする必要がなくなる。

ssh接続設定のファイル

下記の設定をファイルに保存し (\$HOME/.ssh/config), sshコマンドを省略できる。

```
Host 踏み台
  ForwardAgent yes
  ForwardX11 yes
  ForwardX11Trusted yes
  User 踏み台username
```

HostName 踏み台サーバ

下記コマンドでssh接続できる。

```
username@localhost:~$ ssh 踏み台
```

Windows 11 の WSL2 による SSH 接続に戻る

From:
<https://portal.isee.nagoya-u.ac.jp/stel-it/> - STEL-IT wiki

Permanent link:
https://portal.isee.nagoya-u.ac.jp/stel-it/doku.php?id=public:win11_wsl2_ssh:memor

Last update: **2025/04/17 10:46**

